

寅さん歩 その24

半径 30 分以内-1

巣鴨地蔵通り



平野 武宏

八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき「寅さん歩 半径 30 分以内」を新たなテーマとしました。自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。新型コロナウイルス感染拡大に伴う全国の「緊急事態宣言」は 5 月 25 日解除されましたが、「博物館めぐり」の準備が整う、しばらくの間、新テーマを紹介します。まずは寅次郎の自宅から最も近いお散歩コースです。最寄駅は自宅から交通機関を利用の場合の代表例です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

【巣鴨地蔵通り】 豊島区巣鴨 3 丁目・4 丁目 最寄駅 JR 巣鴨駅

山手線大塚駅から 2 分で次の巣鴨駅下車、徒歩 5 分で「巣鴨地蔵通り」到着です。寅次郎の自宅からは徒歩 7 分で「巣鴨地蔵通り」の高岩寺の「とげぬき地蔵」(写真右上)に到着です。

「巣鴨地蔵通り」は 1604 年(慶長 9 年)徳川家康が日本橋を基点に整備した主要街道の中山道にあり、巣鴨駅前から左手に入る「巣鴨地蔵通り商店街」が「旧中山道」です。入口には「眞性寺」の「江戸六地蔵第三番」(写真下左)が鎮座、全長約 780m に約 200 の店舗が並びます。写真下右は縁日の入口風景です。



江戸時代の巣鴨は日本橋と板橋宿の間に位置する「立場」でした。馬の乗り継ぎ、旅人の休憩茶屋や一膳めし屋が並んでいました。当時の巣鴨のお地蔵さんと言えば「眞性寺」の「江戸六地蔵」です。「江戸六地蔵」とは 1706 年（宝永 3 年）深川の僧侶 地蔵坊正元が寄付を集め 15 年かけて青銅の坐像を造り、街道 6 カ所に置きました。「眞性寺」の「江戸六地蔵」は第三番です。

1891 年（明治 24 年）上野駅近くにあった「とげぬき地蔵」を持つ「高岩寺」が東京市の改正計画で巣鴨へ移転となり、巣鴨には「二つのお地蔵さん」となりました。当時は交通の便が悪く、「高岩寺」の古くからの檀家が離れて、人の集まりは少なくなり、参詣客を集めるように 4 の日を縁日としています。商いは主に日用品を扱いました。縁日は現在も続いて、お店の前に露店が並びます。

1902 年（明治 35 年）田端～目白間の鉄道開通で、現在の山手線巣鴨駅が開設、1913 年（大正 2 年）に王子電車（現在の都電荒川線）が開通、交通便の悪さは解消し、商業と信仰の町で賑わいました。

「巣鴨地蔵通り商店街」の商いは巣鴨駅前に西友巣鴨店のオープンにより日用品から「高齢者」にターゲットを絞った「衣料品」が中心となりました。

最近は大店進出による経営不振などで「シャッター商店街」が多いですが、この商店街は「おばあちゃんの原宿」と呼ばれ（マスコミのPRもあり）賑わっています。縁日には 2 時間をかけて訪れるお客さんもいる「高齢者のテーマパーク」です。最近若者の姿を多く見かけ、お店も衣料品（元気の出る赤パンツが有名）だけでなく八百屋、魚屋、その他食料品、食事処、お菓子（塩大福が有名）、煎餅、洒落たパン屋、セブン・ファミマ・ローソンのコンビニ、回転寿司、医療機関、薬屋、仏壇屋、金融機関、郵便局、美容院、無料お悩み相談所、昔の歌のカラオケ、緑茶の出る喫茶店や TULLY'S COFFEE など、ここで日常生活が賄えます。寅次郎、新型コロナ騒動では品不足だったマスクや消毒薬でお世話になりました。写真下左は高岩寺の山門、「とげぬき地蔵」（病や心のとげを抜く地蔵尊）は本堂に鎮座。写真下右は「身体の悪い所に水をかけてみごとと治る」と言われ行列が出来る「洗い観音」です。後にあるのは「初代洗い観音」で毎月 18 日午前 11 時にご開帳されます。



「洗い観音」は山門を入り、境内の左手にあります。

巣鴨は江戸時代から「植木の里」で植木職が多く住み、「ソメイヨシノ」もこの地で誕生しています。菊見物の名所で、現在も「巣鴨菊まつり」が開催されています。写真右は「高岩寺」境内の菊まつり風景です。



「巣鴨地蔵通り」は「猿田彦大神」の「庚申塚」(写真下)まで続きます。

庚申塚は江戸時代には板橋宿に入る前の旅人達の休憩所だったとのこと。この先は「庚申塚通り」で板橋方面に通じています



近くには都電荒川線の庚申塚駅があり、JR大塚駅前へ6分、JR王子駅前へ12分で到着します。

寅さん歩9 江戸六地蔵めぐり及び寅さん歩63 健康ご利益めぐり-25 豊島区をご参照ください。

【こぼれ話】徳川慶喜は巣鴨に住んでいた！

巣鴨駅前の白山通り(中仙道)を渡り地蔵通りと反対側(左)に歩くと写真右の「徳川慶喜巣鴨屋敷跡地」の碑があります。徳川幕府第15代征夷大将軍、大政奉還・江戸城を開城した徳川最後の将軍、在任中は江戸城に住まなかった唯一の将軍、最も長生きした将軍と話題の多い徳川慶喜の巣鴨屋敷跡地です。



説明板には「徳川幕府第十五代将軍徳川慶喜〔天保八年(1837)～大正二年(1913)〕がこの巣鴨の地に移り住んだのは 1897 年(明治三十年)十一月、慶喜六十一歳のことであった。大政奉還後、静岡で長い謹慎生活を送った後のことである。翌年には皇居に参内、明治三十五年には公爵を授けられなど復権の道を歩んだ。巣鴨邸は、中山道(現白山通り)に面して門があり、庭の奥は故郷水戸に因んだ梅林になっており、町の人からは「ケイキさんの梅屋敷」と呼ばれ親しまれていたという。慶喜が巣鴨に居住していたのは明治三十四年十二月までの四年間で、その後小日向第六天町(現文京区小日向一・四丁目付近)に移った。巣鴨邸のすぐ脇を鉄道(目白～田端間の豊島線 現在のJR山手線)が決まり、その騒音を嫌ったとされる。平成十年五月 巣一商店会 豊島区教育委員会」と記載。慶喜は代々の将軍が眠る菩提寺の墓所に入るのを断り、日暮里の「谷中霊園」に眠っています。谷中霊園はJR日暮里駅のすぐ近くで北に向かう新幹線・在来線、環状線の山手線・京浜東北線が頻繁に通っている場所です。慶喜、鉄道の騒音を聞きながらお墓の中で何と言っていることでしょうか・・・

〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さんの東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県コース(380km)と東京都コース(160km)のバーチャルウォークがFWAホームページに「YR・四季の道」に掲載されました。

東京2020オリンピック・パラリンピックは2021年に延期となり、予定の聖火リレーは中止となりましたが、バーチャルウォークの聖火リレーは健在です。



寅次郎、5月14日 東京都コース(160km)に挑戦、世田谷区駒沢のオリンピック公園をスタート、世田谷区、狛江市、稲城市、町田市、多摩市、日野市、昭島市、八王子市、檜原村、奥多摩町、日の出町を経て5月26日青梅市(34.7km地点)に到着しました。今後は瑞穂町から羽村市方面へ向かいます。

しばらくは例会やYRがお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には多くのバーチャルコースが掲載されています。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください!

平野 寅次郎 拝